

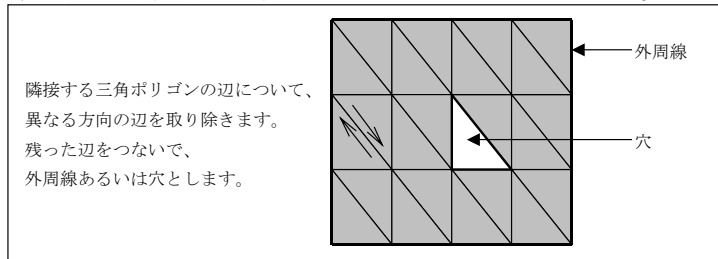
1. インストール説明書に JAI のインストールを追加しました。

バージョン 2.01 から TIN に TIFF などのオルソ画像を貼り付ける機能を追加しましたが、TIFF をリードするために JAI (Java Advanced Imaging) をインストールする必要があります。詳しくはインストール説明書を参照してください。

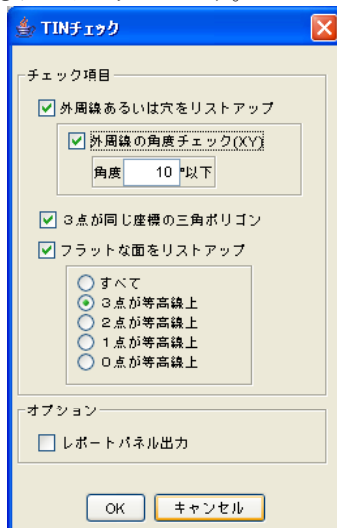
2. TIN チェックに重複を追加

メニュー[TIN]-[TIN チェック]に、3点と同じ座標で完全に重なる三角ポリゴンの検出を追加しました。以下、操作説明書からの抜粋です。

TINの三角ポリゴンを囲む外周線と穴を検出し、表示します。穴や重複、上空からみて反転している三角ポリゴンがなければ、外周線のみとなります。作成した TIN あるいはファイルからリードした TIN が対象です。複数の TIN ファイルがリードして、ファイル間のずれの有無をチェックすることもできます。

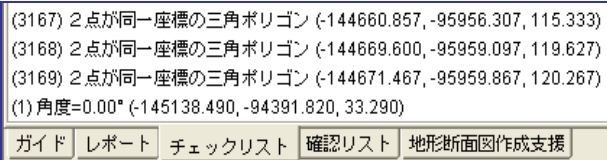


また、三角ポリゴンの3点在同一XYZ座標の場合、あるいは2点在同一XYZ座標の場合、上空から見て反転している場合、その位置もリストアップします。



【外周線の角度チェック】 外周線あるいは穴の点列について、指定された角度より小さい点をリストアップします。XY 平面上での角度を調べます。針のような三角ポリゴンが外側に出ているケースあるいは内側に細い亀裂が入っているケースを検出するためです。

(2) 外周線または穴 頂点数=5
(3) 外周線または穴 頂点数=5
(4) 外周線または穴 頂点数=462
(1) 上空からみて反転している三角ポリゴン (-145473.027, -94527.723, 38.180)
(2) 上空からみて反転している三角ポリゴン (-145472.173, -94605.173, 38.007)
ガイド
レポート
チェックリスト
確認リスト
地形断面図作成支援



【3点が同じ座標の三角ポリゴン】3点が同じ座標で、完全に重なっている三角ポリゴンがあればリストアップします。

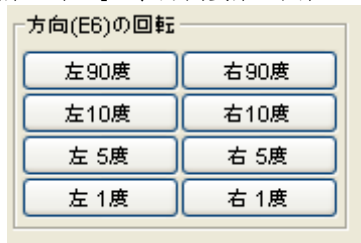
【フラットな面をリストアップ】3点のZ値が同じ三角ポリゴンをリストアップします。DMデータファイルが開かれている場合、等高線との関係が指定できます。尾根や谷筋でのフラットな面の検出に役立ちます。面積が大きい方から順にリストアップします。

チェックリストには最低ひとつの「外周線または穴」をリストアップし、ひとつの場合、外周線になります。複数の場合、頂点数が多いものが外周線です。頂点数が少ないものがTINの穴や重なりがあります。頂点数が少ないほうから表示します。

チェックリストの項目を選択すれば、外周線あるいは穴のループ上の点を参照点にします。また、[座標値]パネルに、座標を表示します。

3. 方向(E6)の編集

3DパネルでのCtrlキーを押しながらのドラッグで、方向(E6)が移動できるようになりました。また、[要素パネル]で、方向要素の回転に1度、5度、10度を追加しました。



4. 矢印表示を修正

[表示]-[表示設定]メニューで、選択された要素が点列の場合、矢印を表示することができますが、点列の点数が数千点の場合、矢印の表示に時間がかかってしまい、メモリを大量に消費してしまう問題がありました。点数が100点を超える場合、すべての点ではなく100個以下の点について矢印を表示するように修正しました。